

平成30年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付事業概要一覧

NO	対象事業	申請団体名	交付決定額	決算額(円)	交付確定額(円)	事業名	事業内容	事業効果	実施期間	実施場所	参加人数	備考
1	スタート事業	赤熊:この先四年楽しく暮らそう会(略称:赤熊楽暮会)	110,000	111,933	110,000	音羽川溪流と半国登山道に係る環境整備事業	・登山口から「音羽の滝」まで、川沿いに生い茂る雑木を切る ・登山道に道しるべの案内板を取り付け、コース、見所、クイズなどを記載する ・登山口の約400メートルにもみじの苗木を植える	雑木を伐採したことで、景色を楽しめるようになり、登山者から好評であった。案内看板の設置により安全で楽しい登山ができる状況になった。	平成30年4月1日～31年3月31日	東本梅町赤熊地内の山地	整備出役人数46名	
2	スタート事業	亀岡フォトロゲイニング実行委員会	130,000	140,924	130,000	亀岡フォトロゲイニングコースづくりと映像編集	新たなレクリエーションとして地域の自然や文化を感じながら健康的に楽しめる「フォトロゲイニング」を提案する。 ①学生や市民、専門家を交えてコースづくりをする。 ②情報発信のために活動を映像に収める。	試験的な大会を実施し、運動量や感想を分析したところ、良い結果を得ることができた。亀岡の魅力的なチェックポイントを発掘できた。	平成30年4月20日～31年3月30日	亀岡市内(京都学園大学を中とした5km×7km範囲)	試験的な大会への参加者約100名	
3	スタート事業	一般社団法人育ちとつながりの家ちとせ	110,000	139,672	110,000	子育てかけこみカフェ	年4回、子育て中の保護者を対象に「子育てかけこみカフェ」を実施し、アドバイザーによる課題解決、支援の機会づくりとする。	実際のケースを紹介することで理解促進と解決策を共有できた。参加者の新たな気づきにつながった。	平成30年7月22日～31年3月15日	ガレリアかめおか、育ちとつながりの家ちとせ	講座参加者合計28名	
4	スタート事業	那須与一堂を守る会	100,000	177,946	100,000	亀岡の歴史を語る～『那須与一堂』講談会の開催、「那須与一堂」保護事業	那須与一堂を広く市民に周知するために「亀岡の歴史を語る～『那須与一堂』講談会」を開催する	多くの方が来場され、知名度の向上に繋がった。現状と存続について説明することで理解を深めてもらった。	平成30年6月30日～10月27日	ガレリアかめおか響ホール	来場者数約200名	
5	ステップアップ事業	亀岡地区保護観察協会	150,000	269,968	150,000	「家族のチカラ」を考えるフォーラム(亀岡地区保護観察協会設立50周年記念事業)	更生保護活動の認知度を高めるために、平成30年9月29日(土)に記念講演会を開催する。 テーマ:家族のチカラ 講師:団 士郎さん(立命館大学客員教授、仕事場D・A・N主宰)	家族というテーマから犯罪をおこさない社会について考え、保護司活動への理解を深める場を市民に提供することができた。	平成30年4月1日～9月30日	ガレリアかめおか響ホール	来場者数120人	
6	ステップアップ事業	重利の山を守る会	200,000	273,951	200,000	森林保全・森遊びの提案と場所創り	〈昨年度に整備した山の自然を活用した催し〉 自然観察会、親子の木工教室、そがべつ子未来づくりサポーター事業(山遊びの指導)、森のコンサート、バードウォッチング教室等	作業を通じて絆が強固になった。地元住民の参加が徐々に増加してきたことで、地域に受け入れられる活動になってきた。	平成30年4月1日～31年3月31日	曾我部長重利近辺の山林	各イベント参加者合計469人	

平成30年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付事業概要一覧

NO	対象事業	申請団体名	交付決定額	決算額(円)	交付確定額(円)	事業名	事業内容	事業効果	実施期間	実施場所	参加人数	備考
7	ステップアップ事業	亀岡地区更生保護女性会	150,000	335,000	150,000	おばちゃんパワー全開！亀更女による更生保護普及推進活動	①キレイフェスタ(社明運動ビケット販売、パネル展示) ②寄せ植え教室 ③若草プロジェクト in Kameoka(勉強会)	活動を充実させ、学びを深めることができた。また、新たに15名が会員となった。	平成30年4月1日～31年3月31日	ガレリアかめおか、花松園、人権福祉センター、吉川町自治会	①キレイフェスタ110名 ②寄せ植え講習会87名 ③若草プロジェクト80名 ④若草プロジェクト勉強会22名	
8	ステップアップ事業	篠町自治会・篠町町づくり推進会	100,000	353,565	100,000	旧山陰街道と鶴の川遊歩道の整備・地域文化振興事業	①模木製の案内道標の設置 ②「めがね橋」の清掃 ③歴史街道ウォーキングの実施	作成した道標を道に設置しウォーキングを行うことで、地元の人がまちの魅力や歴史を学ぶ機会をつくった。また、観光客がまちを散策しやすい環境を整えた。	平成30年6月5日～11月23日	亀岡市篠町	①道標作成参加者10人 ②歴史街道ウォーキング参加者38人	
9	ステップアップ事業	べついいいきいきサロン	93,000	126,624	80,000	べついいいきいきサロン	①移動式サロン各公民館などに出向いて健康チェック、認知症ゲームなどを行う ②いきいきカフェ自治会を借りて、町民のコミュニケーションを図ってもらう場をつくり、介護相談も実施する	サロンは住居近くで開催することで自主的に参加してもらえた。カフェでは高齢者のみならず、若い人の参加もあり、世代間交流につながった。	平成30年4月1日～31年3月31日	西別院町(生涯学習センター・犬野児童館・各地区公民館)	①サロン参加者数51名 ②カフェ参加者数95名 ③講演会参加者数71名	
10	ステップアップ事業	大井町文化振興会	120,000	206,445	120,000	第2回大井町文化発表会	平成30年11月18日(日)に第2回大井町文化発表会を開催し、舞台発表と展示発表を行う。	自治会と協調して宣伝したところ、発表者数が前年を上回り、観客数も増加した。会報誌の発行により大井町民の文化活動情報を発信できた。	平成30年4月30日～31年3月15日	大井小学校および大井町全域	文化発表会発表者数160人	
11	ステップアップ事業	特定非営利活動法人アシストふれあいハート	150,000	201,338	150,000	子育てひろば「まな」	〈亀岡市在住の0歳から就学までの乳幼児とその保護者を対象とした子育てひろば「まな」の実施〉 発達支援に特化した保育士など専門家が中心となり、親子で楽しめる保育を提供する。 併せて年2回、市民に向けた公開学習を開催する。	参加者に気づきを得てもらえたり、相談したことで改善につながってもらえたりした。保護者間の交流の場にもでき、継続実施を望む声も多数寄せられた。	平成30年4月1日～31年3月31日	NPO法人アシストふれあいハート児童発達支援事業所「くくあ」、京都学園大学亀岡キャンパス	①子育てひろば「まな」合計368家族 ②市民公開セミナー86名 ③市民公開学習会6家族	
12	ステップアップ事業	特定非営利活動法人亀岡子育てネットワーク	162,000	242,127	162,000	ママひろば	子どもの年齢にかかわらず母親が参加できる会として講座と交流会を実施し、日頃の子育ての中で感じる不安や心配事を吐き出せる場をつくる。	悩みを相談・共有しリラックスしてもらえ空間を作り出した。年少の子をもつ親と年長の子を持つ親といった、普段の同年齢の親同士の間とは異なる繋がりが生まれた。	平成30年7月1日～31年3月31日	ふらっとHOUSE	講座参加者合計26名	
13	市民連携事業	特定非営利活動法人プロジェクト保津川	400,000	928,862	400,000	保津川に筏を流して、みんなですのこをつくらう！	筏をシンボルとして山、川、まちをつなぐ事業 ①「林業を体験しよう」 ②「いかだにのってみよう」、12連筏の再現 ③「すのこをつくらう！」	荒廃する自然環境の現状を伝えられた、PTAとの連携により、保護者や児童が地元にある資源に気づくことができた。また、地元企業とのつながりの強化も実現した。	平成30年4月1日～31年3月31日	市民の森長尾山、保津川(保津大橋～山本浜)、安詳小学校	①「里山を、あそぼう！」申込者数51名(雨天により中止) ②嵐山での12連筏の再現 観客数300人以上 ③「すのこをつくらう！」参加者10名以上	(連携先)亀岡市立安詳小学校PTA